

8月 パラソルだより



いつの間にかセミの声が聞こえ始め、季節はすっかり夏です。でんでんむしで育てているトマトやキュウリたちも、太陽の光をいっぱい浴びて元気にすくすくと育っています。夏野菜には体を冷やす効果があるので、熱中症予防や水分補給にもピッタリ！旬の野菜を食べて、暑い夏を乗り越えましょう！



0歳から保育園に通わせるのはかわいそう！？

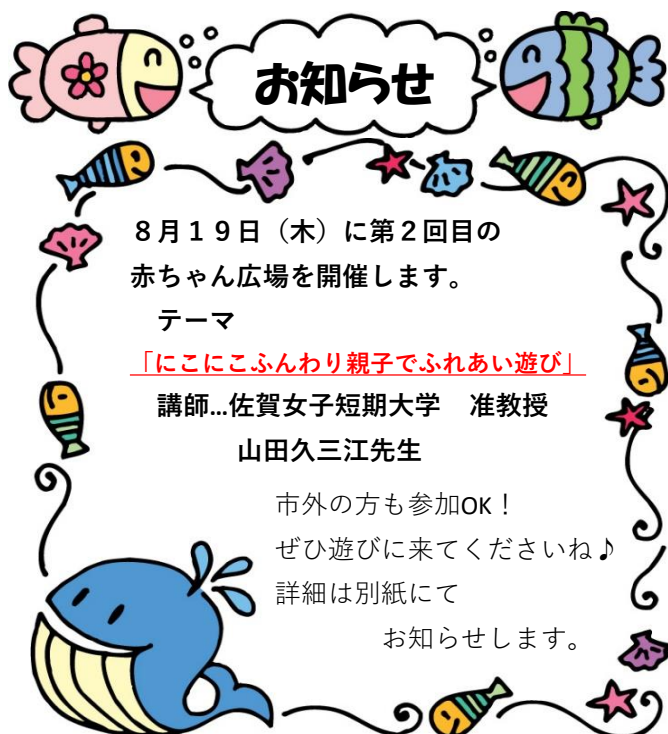


共働きの夫婦が増えたこの時代、0歳児から子どもを保育園に預けるご家庭も珍しくありません。ですが、いまだに「まだ小さいのに保育園に預けるなんてかわいそう」と周りから言われて落ち込んでいるママたちがいるのも事実です。また、親自身でかわいそうと思い、預けることができないという人もいますでしょう。

「子どもが3歳になるまでは、母親が子育てをするのが良い」という「3歳児神話」がありますが、「3歳児神話には合理的な根拠がない」と、厚生白書で断じています。また、厚生労働省では、「保育園で過ごす時間の長さは子どもの発達にほとんど影響せず、家庭で食事をしているかどうか、子どもの発達を左右する」と発表しており、「家族そろって食事をする機会が少ない子どもは、理解度が後（おく）れる、コミュニケーション能力が育ちにくい、栄養バランスがとりにくい、食嗜好が偏りがちになる、食事のマナーが伝わりにくいなど、食に関する問題点を増加させる」という結果が出ています。

子供の成長にとって、この時期が重要な意味を持つのは事実ですが、愛情を注ぎ、子どもが安心できる環境をつくってあげるのは、決して母親でなければならないということではありません。また、愛情は時間に比例するものでもありません。おうちで子どもと四六時中、二人っきりで過ごしてストレスをためれば、母親は子どもに優しく接することができるでしょうか。

仕事を断念して育児に専念するか、小さいうちから保育園に預けるかは家庭の事情によって変わってきますが、保育園に預けることは“かわいそう”なことではありません。むしろ、保育園に預けるメリットはたくさんあり、子どもが学ぶこともたくさんあります。“こうあるべき”と考え、無理をするよりも、ママのストレスをためない子育ての方が、子どもにもいい影響を与えるのではないのでしょうか。



お知らせ

8月19日（木）に第2回目の
赤ちゃん広場を開催します。

テーマ

「にこにこふんわり親子でふれあい遊び」

講師...佐賀女子短期大学 准教授

山田久三江先生

市外の方も参加OK！

ぜひ遊びに来てくださいね♪

詳細は別紙にて

お知らせします。

隠れ脱水になっていませんか！？

児童館に車で来ているのに汗をかいているお子さんがいますが、水分補給はできていますか？後部座席は冷気が伝わりにくく、しかもチャイルドシートに座っているの、思ったより暑く感じます。エアコン吹出口の向きを調節する。車のヘッドレストに固定するファンを取り付けるなどして、後部座席にも冷気が行き渡るようにしましょう。また、館内に入ってしまうと急に涼しくなるので喉の渇きを忘れてたり、遊びに夢中になって水分を摂りたがらなったりします。着いたら一口、遊びの途中で一口と、少量ずつでいいので、こまめに水分を摂るよう心掛けましょう！



子育てに関する悩みや相談事を受け付けています。

お気軽にご相談ください。

利用者支援事業 TEL：0952-75-5120（火曜～日曜日）